

Komatsu高校 学校通信

平成28年

3月

「大切なこと」

3年 永易 孝規

卒業生のみなさん！ 卒業おめでとう。保護者のみなさま、在校生のみなさん、これまで卒業生を陰に陽に支えてくださったと思います。改めてありがとうございました。

私自身が高校を卒業してから30年余りになります。そのころ卒業式当日には進路が未定で、3月4日に大学の受験を控えていました。もちろん、自分だけでなくクラスメートのほとんどがこれから受験という環境でした。卒業式終了後、そのまま汽車に乗って北海道まで受験に行った同級生もいました。昔と大部変わったなと感じます。

先日、企業の方を招いて、就職関係の話を伺う機会がありました。また、これから受験をする生徒の面接・討論の指導に関わる機会もありました。その時に感じたことを少しお伝えしたいと思います。

結論から申し上げますと、何が真実か事実なのか、自分自身で判断する力を身に付けることが大切だということです。

企業の方は、こう言われました。「就職したらしんどくても3年は頑張っってその職場で働こう。」一方で、「向いていない仕事をいつまでも続けているより、できるだけ早く仕事を変えた方がよい。」とです。全く矛盾することですが、この発言は同じ方が言われものです。この発言だけ聞くと、どっちが本当のことなのかと迷ってしまうと思います。その場にいた私は、どちらも正しい意見だと感じました。おかれた状況やその人の特性によって、先ほどの言葉のどちらかが当てはまるものなのだと思います。

同じようなことが進学する際にも言えるかもしれません。この学校は自分に向いている、でも実際に行ってみたら全然楽しくないみたいなことはよくあることだと思います。

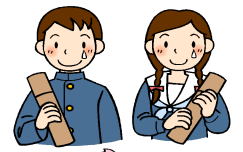
この場合私たちはどのように考えていけばよいのでしょうか。まず、自分がどうしたいのか、自分の気持ちを見つめることが大切です。しかし、自分だけでは気付かない部分もあるかもしれません。他の人が気付いているあなたのよい部分があるかもしれません。様々な人の意見に耳を傾けるという作業があると、より間違いの少ない選択ができると思います。その作業を十分にした上で、最後は自分が判断するという事になると思います。

次に自分自身の判断をより正確にしていくためには、何をすればよいのでしょうか。そのためには、これからも学び続けることが大切だと思います。別の言葉で言うと教養を高めることだと思います。教養とは、クイズ番組でより正解を答えることのできるような知識ではないと思います。物知りが悪いわけではありませんが、教養の有無は知識の多寡ではないと思います。実際の問題に直面した際に、判断の材料となる引き出しのようなものが本当の教養だろうと思います。私は、仕事から歴史を学ぶことが多いのですが、私たちの先祖が積み重ねた歴史の中に様々な教養に結びつく知恵が隠れているような気がします。

最後に一言。

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ。」 by ビスマルク

※ ビスマルク (1815～98)：ドイツ統一を果たした19世紀の政治家



青春の軌跡



平成27年度 3月行事予定

日	曜	行 事
1	火	卒業式
2	水	学年末考査(1・2年)
3	木	↓
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	語の日
8	火	火⑤～⑦の授業 入試準備
9	水	一般入試 生徒立ち入り禁止(終日)
10	木	一般入試 生徒立ち入り禁止(入試終了まで)
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	クラスマッチ 消防点検
15	火	クラスマッチ 臨時生徒総会
16	水	各種委員会 水①～⑤の授業
17	木	木①～⑤の授業+大掃除(ワックスがけ)
18	金	表彰伝達 終業式 合格発表
19	土	
20	日	春分の日
21	月	振替休日
22	火	合格者登校日
23	水	春季補習
24	木	↓
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	離任式
29	火	
30	水	
31	木	



平成27年度 重点努力目標
「志高く 自己を鍛える」
 -校訓「篤敬・勉学・鍛練」の実践を通して-

1	豊かな心・温かい人間関係の育成	『篤敬』
2	確かな学力の定着・向上と進路実現	『勉学』
3	社会性・たくましく生き抜く力の養成	『鍛練』

